

培良タイムス

ホームページアドレス <http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/bairyo-jh/>

令和2年6月1日(月)

第2号

京田辺市立培良中学校

TEL 62-9363

未来の学校？

校長 山下 博史

新型コロナウイルス感染症防止のため、3月からの臨時休業が3か月ぶりに解除され、本日やっと始業式が迎えられます。また、明日は入学式です。登校日等で君たちの顔を見てはいましたが、やはり一抹の寂しさがありました。まだ全校生徒が集まって行う集会はできません。でも、みんなの笑顔を見られることは、教員としての喜びであることをしみじみ感じます。笑顔が泣き顔や怒り顔に変わらないように先生たちは頑張っています。

新しい生活様式は当分続きます。マスクをつけ、手洗いを取行し、密を避ける。

各人が努力できることを一つずつ実行することが求められます。

流行の第2波、第3波が来ることも予想されています。

その予想を覆すように一人一人、できることを実行しましょう。



マスクをしよう

さて、私は、今年で教師生活38年目を迎えます。その中で思い出に残っていることを少しお話ししたいと思います。約23年前、教師になって15年目。有名な事件ではダイアナ元英皇太子妃の事故死があった年に、1か月の海外研修でドイツに訪問した時の話です。ドイツ語だけの生活を送る不自由さでありながらとても刺激的な日々を送りました。

ドイツの小中一貫校を訪問し、そこで行われている学習方法を学ぶことがその時のミッションでした。ヨーロッパ系はもちろん、アジア系、アフリカ系、ポリネシア系などの生徒が通っていて、給食的なものではなく、生徒は校内でお菓子や果物、サンドイッチなど好きなものを食べる、自由な雰囲気でした。教員は授業だけを行い、生徒指導や部活動指導には一切かかりません。生徒が問題を起こしても全てカウンセラー対応でした。

放課後はキリスト教会系のスポーツクラブへ通い、日本のような学校行事はありません。学校は定期的に地域会議を開催し、地域の意見を学校経営に反映します。小学校課程では第2、第3外国語や総合的な学習の時間に対応するような学習があり、指定された教科書や指導の基準となる学習指導要領的なものもありませんでした。



改めて振り返ると、この23年間で当時のドイツで経験した教育が日本でも次々に行われるようになりました。全国に小中一貫校が誕生し、小学校では英語を教科にしました。

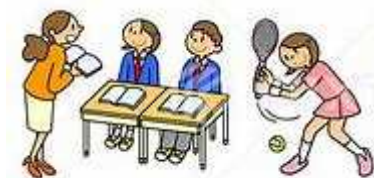
学校評議員の設置や地域協働学校の導入が進められてきています。

更に部活動の指導を教職員から地域指導者に移行する取組も話題になっています。

まるでタイムマシンに乗って未来を覗いてきたようです。



しかし現在日本では、秋季入学が少し話題になりつつありますが、飛び級制は話題にならなくなり、教員の負担軽減策である部活動の地域指導者の確保も困難な状況があります。欧米ほどスポーツクラブが発達していない日本では仕方がないことです。



新たに導入する取組をいかに現存する学校や地域の実態に円滑に適応させるかがこれからの学校や地域に課せられた大きな課題だと考えています。欧米の良さを日本にどのように取り入れるか。ドイツと日本を単純に比較できないですが、当時のドイツの教育に違和感を覚えたことも確かです。日本には欧米とは異なる独自の教育文化が存在します。学校行事を通して学級単位の団結の素晴らしさを味わうことで集団の価値や協調性を養われたと思います。部活動の指導を通して生徒理解や信頼関係が一層醸成され、生徒の心身の成長を促したでしょう。どんなに優れた取組でも裏表はあるものです。

ドイツ滞在中、現地の校長先生から「日本の教育は素晴らしい、これからは日本の教育をお手本にしたい」と言われました。今から考えると多分にリップサービスもあったのでしょう。

日本の教育に解決すべき課題は山積していますが、これまで日本が大切にしてきた様々な取組は日本人の勤勉さ・真面目さ・規範意識などの優れた資質を育成してきました。災害が起こった時、暴動や物資の略奪が起こらないことや、今回のコロナウイルスのような感染症が起こった時も「強制」ではなく「要請」で国民が「一人一人考え行動できる」ことは日本の教育の特筆すべき点だと思っています。



どんなに優れた取組を導入しても効果と同時に課題も必ず発生します。一つの視点のみでドイツをはじめ世界の人々から称賛される日本の教育の質が低下しないように、みんなで知恵を出し合っていたらと思います。

最後に、ドイツ訪問の後、フランスのパリへ行きました。パリのホテルで当時（1997年）、翌年に控えたフランスサッカーワールドカップに日本が初出場を決めた試合（ジョホールバルの歓喜）をテレビで見て、そのあと友人たちとパリの街を飲み歩いたことも良き思い出です。また、ダイアナ妃がなくなった事故現場（なくなってから3か月もたっていませんでした）を通る機会がありました。山のような花が添えられていたことを思い出しました。



今更ですがご冥福をお祈りいたします。

6月の行事予定



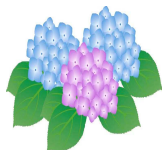
2日（火）2・3年生短縮午前中授業
入学式（午後2時30分開式）

3日（水）短縮午前中授業

4日（木）注文弁当開始

1年生B-Sキャンプ

2年生CRTテスト



5日（金）B-Sキャンプ（1年） 個人写真撮影

8日（月）部活動開始・清掃活動開始

11日（木）・15（月）・16日（火）

1年生部活動体験

17日（水）部活動一斉ミーティング

29日（月）生徒総会 教育相談強化週間（～7/10）

裏面も必ず確認してください

～新型コロナウイルス感染拡大防止のために～

学校生活を安心して送れるように新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手洗いの励行や3密を避ける配慮を授業中や部活動など徹底して対策を行っています。



＜感染予防に関わる持ち物＞

- ・健康観察表
 - ・マスク（着用して登校する）
- ※予備を家庭科の時間に作成し、学校で保管します。
- ・手洗い後に使用するハンカチまたはタオル
 - ・熱中症予防のためにも必要十分な量の水分



◎今年度新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休業や感染拡大防止の対応にともない、行事や取組を変更・中止しています。（6月1日現在）

＜中止となった行事＞

- ・体育大会 ・文化発表会 合唱コンクールの部 ・進路体験学習
- ・職場体験学習

※例年実施していた1年生宿泊オリエンテーションはB-Sキャンプと名称を変更して、

6月4日（木）5日（金）に本校で実施します。

※10月30日（金）3年生B-Sportsは体育の授業の発表の場として、スポーツに関わる取組を行う予定です。

＜今年度から実施しない行事＞

- ・マラソン大会

（学校の規模が縮小し教職員の数も減少したため安全に十分な誘導を行うことができないため）

- ・3年生を送る会

（本校は卒業式に在校生が参列します。在校生は各学年で卒業をお祝いする取組を行います。

3年生についても3年間で振り返る取組を行います。）

◎通知表及び例年の定期テスト（１・２学期中間テスト・期末テスト・３学期学年末テスト）の名称・時期を変更して実施します。



<定期テスト>

第１回テスト（中間テスト）：７月中旬

第２回テスト（期末テスト）：１０月中旬

第３回テスト（中間テスト）：３年生 １１月下旬 １・２年生 １２月初旬

第４回テスト（学年末テスト）：３年生 １月下旬 １・年２年生 ２月下旬

<通知表>

- ・全学年、１・２学期末の通知表は配布しません。

（今年度の通知表の配布は、１１月上旬と３学期末のみとなります。）

- ・１１月上旬の通知表は第１回テストと第２回テストや授業中の様子や課題などを総合的に評価したものを２学期成績として１１月上旬に配布します。
- ・３学期末の通知表は第３回テストと第４回テストや授業中の様子や課題などを総合的に評価したものを３学期成績として配布します。年間成績も３学期末の通知表に載せます。
- ・３年生につきましては、第１回～第３回テストなどの評価をふまえて、進路用として成績を２学期末の三者面談で提示します。

<部活動>

- ・６月８日（月）から開始します。
- ・６月８日（月）～１２日（金）は部活動ミーティングを実施し、活動時間を短縮します。
- ・６月中は（土）（日）の活動は実施しません。

部活動終了時刻 １７：００ 最終下校 １７：１５

一人ひとりの心がけが、感染リスクを下げ、感染を予防することができます。学校生活の新しいスタイルに早く慣れましょう。また、家庭でも手洗いや十分な睡眠、バランスの取れた食事などを意識し規則正しい生活を送ることで免疫力をUPさせ、感染予防に努めましょう。